

昌子の広場

第125報

小林昌子議会報告

和泉市無所属市民派議員

小林昌子

和泉市緑ヶ丘 2-13-10

自宅 Tel(Fax) 0725-54-2626

事務所 Tel(Fax)0725-53-4451

Email masakokob@ybb.ne.jp

http://masako-hiroba.info/

ホームページもご覧下さい

yahoo の小林昌子で検索出来ます



平成24年度予算(案)で
一般会計600億円過去最大規模
はつが野自治会館問題

目次

- ・平成24年度予算が出ました P1-3
- ・自治会館用地について P4

平成24年度予算(案)ができました。

会計区分	24年度予算	23年度予算	増減
1 一般会計	60,300,000	58,900,000	1,400,000
2 特別会計	35,186,175	31,325,702	3,860,473
①国民健康保険事業	19,639,165	18,731,052	908,113
②公用地先行取得事業	265,795	253,142	12,653
③市街地再開発事業	3,916,382	1,216,888	2,699,494
④介護保険事業	9,452,189	9,405,966	46,223
⑤和泉診療所事業	338,092	357,884	▲ 19,792
⑥後期高齢者医療事業	1,574,552	1,360,770	213,782
3 企業会計	19,181,207	17,495,209	1,685,998
①水道事業	6,096,887	5,104,511	992,376
②公共下水道事業	4,876,269	5,017,106	▲ 140,837
③病院事業	8,208,051	7,373,592	834,459
総合計	114,667,382	107,720,911	6,946,471

単位(千円)

平成24年度当初予算は前年度に比べ約70億円増加し、初めて一般会計で600億円を突破した予算となっています。ほとんどの会計で前年度より増加しており、一般会計に借り換え債の発行が36億円あることを考慮に入れても、相当膨張した予算となっていることは間違いありません。予算委員会の審査の中で明らかにしていきたいと考えています。

つづいて一般会計について、私たちの家計にたとえたらどのようなになるでしょう。

まず歳入についてみてみます。一ヶ月の家計を30万円として家計に例えますと下表のようになります。

一ヶ月の家計に例えたら(千円)		和泉市一般会計予算(千円)	
給与収入	122.1	市税	21,801,734
		使用料・手数料・分担金 負担金・諸収入	2,736,297
その他臨時収入	0.2	寄付金・財産収入	47,154
貯金の取り崩し	8.2	繰入金	1,640,891
親からの仕送り	130.8	地方交付税	8,300,000
		地方贈与税・各種交付金・ 国庫支出金	17,984,526
借金	38.8	地方債	7,789,400
収入計	300.0	歳入計	60,300,002

これをみてみますと、収入の中心となる給与収入は家計の40%にすぎません。国や府等からの交付税や支出金すなわち親からの仕送りの方が多くなります。更に貯金を取り崩しながら、新たな借金で家計を維持しなければならない厳しい財政状況が続きます。国のように税収を上回る国債を発行するほど危機的とは言えないと思いますが、引き続き自前の収入の確保が必要です。

一ヶ月の家計に例えたら(千円)		和泉市一般会計予算(千円)	
食費	50.2	人件費	10,094,620
高熱水費	33.8	物件費	6,794,631
車の修理費	0.6	維持補修費	130,648
医療費や子供学費	94.6	扶助費	19,018,559
親戚への援助	30.1	補助費	6,040,162
自宅の増改築や補修	17.2	普通建設事業費	3,453,699
借金の返済	42.9	公債費	8,620,182
生命保険等	0.2	投資	44,000
子供への仕送り	30.0	繰り出し金	6,028,909
貯金	0.1	積立金	24,586
その他	0.2	予備費	50,000
支出計	300.0	歳出計	60,299,996

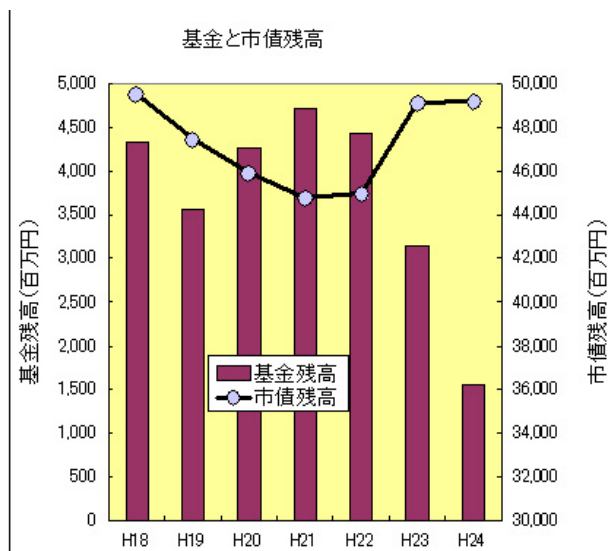
支出の最大は全体の 1/3 を占める医療費や教育費（社会保障等の扶助費）となっています。今国では税と社会保障の一体改革が議論となっていますが、和泉市も社会保障のコストが最大の支出項目となっています。それに比べ新たな投資は10%にも遙かに届かないレベルで、前向きな投資が出来ない財政構造となっています。新たな借金は全て借金の返済に回っている自転車操業でもあります。

今回予算と和泉再生プランの関係は？

(単位百万円)

項目	和泉再生プラン		H24予算	差
	全体効果額	内H24効果額		
1 歳入確保	380	92	125	33
徴収率の向上	210	57	85	28
受益者負担の適正化	150	30	11	▲19
公有財産の有効活用	20	5	5	0
その他歳入の確保			24	24
2 歳出削減	3,873	620	819	199
人件費の削減	707	171	96	▲75
給与等の削減	442	118	46	▲72
その他人件費の削減	265	53	50	▲3
普通建設事業費の抑制	1,537	123	385	262
新規事業の原則凍結	1,510	229	347	118
その他建設事業の抑制	27	▲106	38	144
扶助費の見直し	129	26	28	2
補助金等の見直し				
物件費等の削減	1,500	300	310	10
3 行政改革	2,298	165	222	57
行政運営の更なる効率化	1,165	24	34	10
定員の適正化	1,047	124	157	33
配置基準の見直し	550	85	115	30
多様な人材の活用	342	24	22	▲2
その他	155	15	20	5
委託等の推進	86	17	31	14
合計	6,551	877	1,166	289

今回の予算案と和泉再生プランとの関係は左のようですが、総じて言えば再生プランに沿って順調に改革が進んでいると思います。今回職員の給与のカットの提案がなされました。すでに実施しているカットを24年度に限り増やすもので。例えば市長は現行10%を20%カットに、部長級の一般職は現行2%を6.5%に増やすもので、全体の効果額は247百万円、今回の改正で76百万円の効果が見込まれるとしています。職員の給与に手をつけるのは最後の手段であると思いますが、今はそのような事態にあるということです。



基金と資産残高の推移は左のグラフです。特に基金の減少が著しくピーク時（H21年）から約1/3に減少する見込みです。基金は財政が逼迫した時の最後の砦ですが、これが無くなると赤字転落の危機感を常に念頭に置いた財政運営が必要となります。尚和泉再生プランでのH24年度の基金残高の計画は2649百万円ですので、約半分減少する事になります。(注) H18-22年は決算ベース、H23年は現行予算、H24年は今回当初予算ベースによるものです。

主な重点事業をあげてみます。

<災害に強いまちづくり>

- **小中学校の耐震化の前倒し**
平成23年度末までに53棟完了予定ですが(耐震化率85.8%)残る22棟を当初の27年度完成予定を25年度完成予定に前倒して進める。
予算計上8.3億円、債務負担4.33億円
- **消防署の整備**
旭出張所を分署に格上げし24年度中に完成
予算計上1.5億円
横山分署の新設整備 25年度完成予定
予算計上1.28億円 債務負担行為 2.1億円

<環境に配慮したまちづくり>

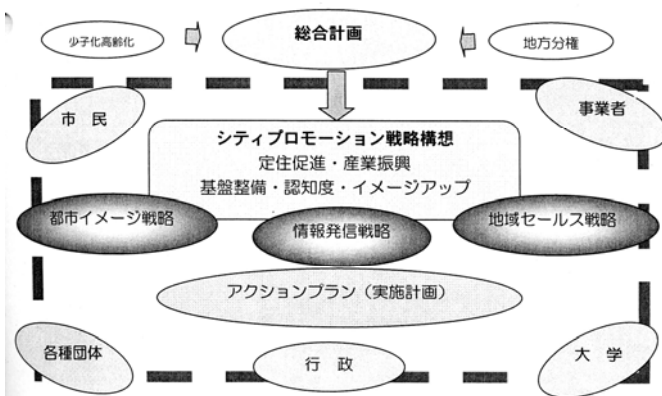
- **市内防犯灯のLED化**
2年間で市内全ての防犯灯をLED化
リース契約をし町会に貸与
予算計上1820万円
- **雨水タンクの設置補助金**
上限3万円で1/2を補助 予算計上100万円
- **太陽光パネルの補助枠の拡充**
補助枠を500万円拡大 予算計上2000万円

<子育て環境の充実>

- **子供医療助成の拡充**
通院助成を小学校1年生まで拡充
拡充予算額上限 2660万円
- **妊婦健康診断助成の拡充**
全14回の内8, 10, 12回目の助成額を3500円から7000円に拡充
拡充予算枠上限 1660万円
- **その他の子育て支援事業**
子育て支援センターの新設(仮称横山きのみ保育園内に整備 予算計上740万円
保育ステーション事業の実施 予算計上900万円

<活気あるまちづくり>

- **和泉シティープロモーション戦略プランの策定**



和泉市の都市イメージなどを広く発信することにより、定住促進・産業振興へつなげる

予算計上 519万円

- **市街地再開発事業**

府中駅前再開発事業
予算計上総額4.2億円



<その他>

- **北部公共施設整備事業**
自然保全に関する請願を受け、今後の整備方針について再検討する
- **南池田中学校整備事業**
平成24年度末までに校舎の増築完了を予定
予算計上2.56億円
- **電子決済・文書管理システム構築事業**
庁内意志決定の迅速化、ペーパーレス化及び事務の円滑化を推進し、市の情報の総合的管理及び透明性を高めるため、平成26年度導入を目指しシステムの導入を進める(債務負担7000万円)

介護保険料が改定されます。来年度からの3年間の介護保険料は現行 4717 円が 5099 円にアップとなります。近隣自治体は

泉佐野市	5,500円	14%アップ
岸和田市	5,497円	19%アップ
河内長野市	5,298円	30%アップ
貝塚市	5,200円	18%アップ
高石市	5,200円	21%アップ
忠岡町	5,120円	10%アップ
泉大津市	4,290円	17%アップ
和泉市	5,099円	8%アップ

いずれも電話での確認ベースで確報ではありません

はつが野地区の集会所用地是正へ！

和泉市とUR(独立行政法人都市再生機構)はこのたびはつが野地区の集会所用地のあり方について、従来の考えから一歩前進し、はつが野1丁目と二丁目自治会館用地として、新たに約400㎡程度を確保することになりました。

トリヴェール和泉は良好な住環境の宅地を低廉な価格で供給するために「新住宅市街地開発法」により開発された町です。

にもかかわらず民間開発では50戸以上300戸未満の戸建て住宅では(計画戸数×1)+30の建築面積(㎡)の設置基準に基づき設置しなければならないとされていますが、トリヴェールの現況はそれよりも数段劣っていました。私はまちづくりの観点からこれらの問題を平成22年12月議会以降たびたび取り上げ、是正を求めてきました。今回URは今後の集会所基準を

「原則、丁目ごとに一箇所を確保する。ただし計画世帯数(概ね300から400世帯ごとに一箇所)にも配慮するといった考え方としていきたい。この計画でははつが野一・二・三丁目及び六丁目では不足することが懸念される」との見解を示しました。しかしこの見解では、はつが野4丁目、5丁目は従来通りの集会所用地で充足しているととられかねません。URと和泉市のH3年の覚え書きでは約200㎡の用地とされていますので、200㎡にこだわることなく、いぶき野3丁目のように259㎡を目指して交渉すべきだと考えます。

その他トリヴェール和泉の開発ではまだ積み残したままになっている、ゲートボール場の整備をはじめとした問題が数点残されています。今後もトリヴェール和泉の開発の基本的な考えに寄り添った街づくりができるよう取り組んでまいります。

地区名	計画戸数	用地面積(㎡)	備考
はつが野1丁目	717	230	
# 2丁目	627	200	
# 3丁目I	635	200	
# 3丁目II	7	298	松風台101世帯
# 4丁目	421	未定	
# 5丁目	358		
# 6丁目	602		
いぶき野1丁目	375	200	
# 2丁目	328	199	
# 3丁目	222	259	
# 4丁目	130	230	

*いぶき野1丁目は調整池跡地50戸を含みます

*はつが野3丁目は現時点の考えで決定ではありません

ん、

昌子の日記&予定

- 2/1 町づくり協議会、市政相談会
- 2/2 岸和田グリーンセンター見学
- 2/6 下水道勉強会、広報広聴委員会、あすの槇尾川を考える会
- 2/8 和泉中央駅会報配布、事務所運営委員会
- 2/9 和泉中央駅会報配布、法務局にて協議、ソロプチ合同委員会、子育て支援懇談会、タウンミーティング(信田小)
- 2/10 和泉中央駅会報配布、泉北水道議会
- 2/14 放射能がれき学習会、泉北環境見学
- 2/15 人と防災未来センター、一庫ダム視察、府政対談会
- 2/16 下水道勉強会、ソロプチ定例会、緑ヶ丘女性消防クラブ、タウンミーティング(光明台北小)
- 2/17 予算説明会
- 2/18 二胡コンサート
- 2/20 光明池駅会報配布、議運
- 2/21 トリヴェール緑地問題協議
- 2/22 和泉中央駅会報配布
- 2/23 下水道勉強会
- 2/24 信太山駅会報配布
- 2/26 生活排水行政についての勉強会
- 2/27 本会議
- 2/28 厚生文教委員会傍聴
- 2/29 都市環境委員会

<事務所行事> いずれも小林昌子事務所で

連絡先 自宅 TEL 0725-54-2626

事務所 TEL 0725-53-4451

(事務所 〒594-1155 緑ヶ丘1-3-15)

万葉講座(場所 緑ヶ丘自治会館にて)

- ・講師 大高勇さん(全国万葉協会会員)
- ・会費 1,000円(3か月分) 14-16時
- ・97回 3/10(土) 万葉の植物パート3
- ・98回 4/14(土) 奈良県田原本一帯万葉百済の原、三宅の原、竹田の原
- ・99回 5/20(日) 万葉バスツアー
大寺登る地“百済三宅”を訪ねて

ちぎり絵

- ・講師 西原志満子さん・材料費実費 参加費無料
- ・3月14日(水)13時~16時

パソコン講座(参加費無料)

- ・第2、第4週の火曜 10時~12時、
同じく 木曜 14時~16時

市政相談会

- ・第2、4水曜日 20:00~21:30
事前に御連絡下さい